

2027年度新規採用予定者内定式について

2026年10月1日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所(以下、鉄道総研)は2026年10月1日(木)10時00分から、国立研究所において、2027年度新規採用予定者内定式を行いました。

内定式では、芦谷公稔理事長が新規採用予定者 22 名に内定通知書を渡しました。



写真 内定通知書を受け取る内定者

理事長あいさつ要旨

本日、22人の皆さんに鉄道総研への内定を通知できたことを、大変うれしく思います。

鉄道総研は発足以来、鉄道技術の発展のため、幅広い技術分野において、基礎研究から応用開発までを一貫して推進してきました。また、中立的な第三者機関として、事故や災害などの原因究明、復旧の方法の提案などの技術支援にも取り組んできました。

こうした取り組みの積み重ねにより、鉄道事業者などから「信頼」を得てきました。この「信頼」が、鉄道総研のかけがえのない財産です。この信頼をさらに高めていくためには、研究開発力をさらに一層高めていく必要があります。

一方、鉄道を取り巻く環境は大きく変化しています。激甚化する自然災害への強靱化、労働力不足に対応するための生産性の向上、さらには2050年カーボンニュートラルの実現など、取り組むべき課題は山積しています。鉄道総研では、鉄道事業者などと連携しながら、これらの課題解決のための技術革新をリードしていく役割が期待されています。

本日から来年4月までの半年の間に、皆さんに3つのことをお願いしたいと思います。

1つ目は、現在取り組んでいる研究を、しっかりと仕上げることです。論文を仕上げることは、一人の自律した研究者としての第一歩を踏み出すことであり、鉄道総研の中で歩いていくために、その決意をしっかりと心の中に持ってほしいと思います。

2つ目は、大学の先生や先輩、同僚とのつながりを大切にすることです。研究開発は決して一人では完結しません。これから研究者として歩いていく中で、信頼できる人的ネットワークを築いていくことになりますので、その第一歩としてください。

3つ目は、鉄道総研での研究開発に対する夢や抱負を持つことです。そのために大事なのは「好奇心」です。日々鉄道を利用する中で、あるいは鉄道のニュースに触れたときに興味を持ち、自分なりの課題を見つけてください。そして、それをぜひ鉄道総研での夢や目標につなげてほしいと思います。

鉄道総研は、若い皆さんの自由な発想とチャレンジ精神に期待しています。皆さんが来年4月に元気に、そして一回り逞しくなって入社されることを楽しみにしています。